

名棋士 & 迷伝説 名鑑

天才集団は、オモシロ人物集団だった!

名

棋士

&

迷伝説

名鑑

DATAの見方

あ、いい意味で空気を読まない羽生キラー

森内 俊之 [九段 39歳]

出身地	プロ入り(四段昇段)年	獲得タイトルと獲得数	優勝棋戦と優勝数	在籍クラス
東京都	1987年	11回	1回	1組

1 出身地 2 プロ入り(四段昇段)年 3 獲得タイトルと獲得数 4 優勝棋戦と優勝数 5 在籍クラス。序列は竜王戦が1組>2組>……>6組、順位戦がA級>B級>1組>B級2組>C級1組>C級2組の順 6 備考

7 各棋士が持つ特殊能力 8 得意としている戦法



棋界の頂点に立つ最強の棋士!

羽生 善治

[名人・王座・棋聖 39歳]

1 埼玉県所沢市 2 1985年 3 竜王6期他計75期 4 胡日杯将棋オープン戦他35回 5 竜王戦1組/名人 6 十九世永世名人/永世王位/名誉王座/永世棋王/永世棋聖/永世王将資格者

人気&実力 S	妻が元女優 S
対談数 S	マウス操作 D
整髪度 C	ALL ROUNDER

1 1996年に史上初の七冠王を達成するなど圧倒的な実力と人気を兼ね備えた最強棋士であり、将棋界のラスボス。あらゆる戦型を指しこなすチートレベルの能力で、一部の若手を除き通算勝率も現役で唯一7割を超える別格の存在だ。誰もが不利と断言する局面から大逆転することが多く、それを演出する予測不可能な絶妙手は「羽生マジック」と呼ばれている。

●棋界唯一の**1億円プレーヤー** ●タイトルを3つ所持していてもスランプと言われる ●相手が悪手を指すと**ため息をつく** ●ため息を聞いた相手は**負けを意識**する ●勝ちを確信すると**激しく手が震える** ●震えを見た相手は**負けを確信**してしまう ●小学生名人戦の出場時ですでに「**好きな戦法は)ありません。なんでも指します**」 ●寝グセは今も健在 ●今どき携帯電話を持っていない ●「**ニコニコ動画、楽しいんですよ。いくらでも時間を費やせちゃう**」

プロをして舌を巻く圧倒的な強さ 伝説のネット棋士「dcsyhi」の正体は?

2003年ごろ、インターネット将棋対戦サイトの最大手である『将棋倶楽部24』で、一人のプレイヤーが旋風を巻き起こしていた。渦中の人物のハンドルネームは、「dcsyhi」。呼び方もよく分からないこのdcsyhiという人物はケタ外れの強さを誇り、並み居るアマ強豪を相手にみるみる勝ち星を重ねていった。確かに『将棋倶楽部24』では時おりプロ棋士や奨励会員が匿名で指すこともあり、驚くほど強いプレイヤーが現れることがある。しかしそれにしても、dcsyhiは将棋の内容が圧倒的だったのだ。

その後dcsyhiはプロ棋士の間でも話題となり、その正体はトップクラスの棋士と間違いないとうわさされるようになる。そして、難解な指し回しの中から魔法のような絶妙手が飛び出すdcsyhiの棋譜を見たものは皆、ある棋士を思い浮かべた——そう、羽生善治名人だ。しかも調べてみるとdcsyhiは、当時の羽生のスケジュールの合間を縫うようにしてネット上に出ていたと言う。まるで「ヒカルの碁」のような話ではないか。

168勝39敗1分。当時としては前人未踏のレーティング3,000点オーバーを達成し、ネット最強の名を欲しいままにしたdcsyhiは、忽然と姿を消した。果たしてdcsyhiの正体は羽生名人なのか? ネット将棋史上最大の謎の真相は、いまだやぶの中だ。

神武以来の天才! 棋界きっての個性派

加藤 一二三

[九段 70歳]

1 福岡県嘉麻市 2 1954年 3 名人1期/十段3期/王位1期/棋王2期/王将1期 4 NHK杯7回他計23回 5 竜王戦5組/順位戦C級1組(A級以上36期) 6 紫綬章受章

信仰心 S	ネット人気 S
食事量 S	将棋愛 S
ウヒョー S	棒銀

史 上初の中学生プロ棋士。大山康晴や中原誠といった名棋士と数々のタイトルを争い、一時代を築いた。常に最善手を求める棋風で定跡の発展にも大きく寄与。1手に数時間考えたりする長考派だが秒読みに減法強く、「1分将棋の神様」と呼ばれている。また純粋無垢な性格が生み出す言動は「加藤一二三伝説」と称され、そのキャラクターに魅せられる人は後を絶たない。



●愛称は「ひふみん」 ●加藤**一二三九段**の表記で段位が分かりづらい ●敬虔なクリスチャン。**ローマ法王から聖シルベストロ教皇騎士団勲章を授かっている** ●騎士である唯一の棋士 ●対局中に**聖歌を歌い出す** ●対局時は**昼も夜もうな重** ●1日で板チョコ8枚をペロリ ●1分間でみかん3つを平らげ、対戦相手の羽生名人は絶句 ●「**あと何分?**」と尋ねるのが口癖 ●**30秒将棋でも「あと何分?**」 ●対局中に詰みを発見して、**思わず「ウヒョー」** ●対戦相手の後ろに回り込んで考える ●対局中でも将棋盤の位置を直す。あまりの直しぶりにキレた棋士が「**加藤さん、喧嘩を売るのは?**」 ●対局時は**ネクタイが長い。異常に長い** ●ネクタイが長いことは自覚している ●若いころは超絶イケメン ●雨宿りをする猫に向かって「**ハロー。君たちも将棋に興味があるのかい?**」 ●**明らかな敗勢でも常に真剣**。その姿に襟を正す棋士も多い

あ、いい意味で空気を読まない羽生キラー

森内 俊之

[九段 39歳]

1 神奈川県横浜市 2 1987年 3 竜王1期/名人5期/棋王1期/王将1期 4 全日本プロ他12回 5 竜王戦1組/順位戦A級 6 十八世永世名人資格者

対羽生 A	冷静さ C
クイズ S	振り駒 S
チェス S	矢倉

羽 生名人と小学生のころからのライバルであり、誰もが認める実力者。普段は温厚でシャイ、真面目な人柄だが、将棋に関しては別。対戦相手の扇子の音に異議申し立てをして鼻血を出すなど、熱い勝負師の一面を持っている。なお投了時に「あ、負けました」と発声することから、2ちゃんでは文頭に「あ、」を付けて森内を真似る書き込みが散見される。

●大のクイズ好きで、**クイズ\$ミリオネアに一般人(団体職員)として出演** ●**アタック25にも一般人戦、知性派タレント戦で2回出演**し、タレント戦では**ダントツで優勝** ●駒沢大学の学祭でもクイズ研の大会に客として出場。**準優勝してママチャリをゲット** ●若いころに慶応大学のクイズサークルに参加。身分を明かさずにいたら**フリーターと思われる** ●タイトル保持者(有利とされる)先手番を取りやすいことに疑問を抱き、**自宅で振り駒を数千回行って「夢」が表になりやすいことを発見**。ルール改定に一役買う ●チェスの実力も相当なもので、5月現在**日本ランク3位** ●**チェス大会に扇子を持ち込み、ルール違反と注意される** ●永世名人になったのは**羽生名人より先** ●名人戦の大舞台で**対局中にトイレに閉じ込められた**

この若さで、地位&実力&妻子に恵まれた超リア充

渡辺 明

[竜王 26歳]

1 東京都葛飾区 2 2000年 3 竜王6期 4 銀河戦2回他計4回 5 竜王/順位戦A級 6 永世竜王資格者

勝負強さ	S	虫耐性	C
辛口	A	絵心	D
競馬愛	S	居飛車穴熊	

史 上4人目の中学生棋士として華々しくデビュー。基本的には合理的な組み立てと勝ちやすさを重視する棋風だが、**ここぞ**というときの勝負の勘所も心得ている。羽生名人との「永世竜王」を懸けた七番勝負では3連敗からの4連勝という大逆転劇をやったのけ、次代を担うエースとしての存在感を示して見せた。妻は小言、5才の息子は競馬マニア。



- 虫が苦手で、出くわすと第一人者の威厳は微塵もなくなる ● 自分にも周囲の人にも厳しいが、馬にはひたすら優しい ● 奨励会時代に足踏みしたのは「ダビスタ」と「パワプロ」に熱中しすぎたから ● 5歳の息子と本気で言い争いをする ● 食べ物にはひどく臆病で、初めて見たものは猫並にチョイチョイする。そして結局食べない ● 下町育ちのせいか、肉や野菜の微妙な価格差を気にする ● 「桃鉄」好きが高じ、友人を集めて二泊三日の合宿を計画 ● 酔うと羽生名人のすごさを語りだす ● 酔うと「一度でいいから合コンがしたい」と懇願 ● 魔太郎に似ていることは自覚している



序盤と人気は最強！ 将棋界の長嶋茂雄!?

藤井 猛

[九段 39歳]

1 群馬県沼田市 2 1991年 3 竜王3期 4 新人王戦3回/JT将棋日本シリーズ2回他計7回 5 竜王戦2組/順位戦A級 6 藤井システムで1996年度升田幸三賞を受賞

序盤力	S	ダジャレ	C
ファンタ	S	ネット人気	S
解説力	A	四間飛車	

独 創的かつ論理的な序中盤の構想力と研究はトップクラス。特に竜王獲得の原動力となった戦法「藤井システム」は、将棋の序盤戦略全体に革命的な影響を与えた。だが近年は鮮烈な大逆転負けが増え、「終盤のファンタジスタ」の愛称が定着している。常に斬新な序中盤、安心できない終盤、解説での自虐的なユーモアに富んだ発言で片時も目を離せず、コアなファン人気が非常に高い。



- 藤井の勝ちを確信したファンが風呂に入って戻ってくると、なぜか負けている ● 「ファンタ」の瞬間、2ちゃん将棋板の勢いが全板中トップに ● 2ちゃん人気は羽生以上とも言われ、唯一の専用AAスレがある ● 大優勢から大ボカで投了して開口一番「芸術的でしょ？」 ● 解説で序盤は能弁だが終盤で「分かんない」を連発 ● 「(この手は) 絶品チーズバーガー」などのダジャレや棋士のモノマネが得意。「3月のライオン」の辻井九段のモデルに ● 定跡書に名著が多く、振り飛車党の神様の存在 ● 藤井システムの対策が進んだ現在だが、居飛車を指しても序盤は間違いなく優勢になる ● ファンタさえいなければ勝率は羽生以上とも

佐藤 康光

[九段 40歳]

1 京都府八幡市 2 1987年 3 竜王1期他計12期 4 NHK杯2回他計8回 5 竜王戦1組/順位戦B級1組 6 永世棋聖資格者

変態戦法	S	涙腺	C
バイオリン	A	力戦振り飛車	

羽 生世代の一人で、永世棋聖の資格を持つ強豪。二つ名は「一秒で一億と三手読む男」。性格は真面目で義理堅く一本気。最近は風変わりな作戦を多用するため、変態流というありがたい名称で呼ばれることも。

- 対局に集中しすぎて女子トイレに入りかける ● 対局に集中しすぎて出入り口を間違え、押入れを何度も開ける。控え室は「ドラえもんか!」と鋭く指摘 ● 仕事で東北に向かうが天候悪化により交通機関がストップ。どえらい距離をタクシーで駆けつけた ● メガネをかけたまま泳ぎ、案の定メガネをさらわれる ● メガネの感じが桃屋の人に似ている



木村 一基

[八段 36歳]

1 千葉県四街道市 2 1997年 3 なし 4 新人王戦1回 5 竜王戦2組/順位戦A級 6 タイトル戦登場回数4回/2001年度最高勝率&最多勝利&最多対局

受け潰し	S	和服相性	D
ぼやき	A	積歩取り	

遅 咲きの棋士の代表格。奨励会をなかなか抜けられず苦労したが、プロ入り後は毎年トップクラスの勝率を挙げている。不屈の闘志からくる粘り強い受け(=守備)は評価が高く、「千駄ヶ谷の受け師」の異名を持つ。

- 王将までもを守りに参加させる顔面受けで恐れられる ● 相手の攻め手を完全に奪った後はフルボッコに ● 安定した勝率を上げ、ついたあだ名がそのまま「勝率くん」 ● 将棋界の七不思議に数えられるほど和服を着ると勝てない ● そのため和装が慣例のタイトル戦が苦手 ● 負けた際の体育座りに哀愁が漂う ● 盤外の朗らかな人柄と解説の名調子ぶりは棋界一

宮田 敦史

[五段 28歳]

1 埼玉県吉川市 2 2001年 3 なし 4 なし 5 竜王戦5組/順位戦C級1組

詰将棋	S	オタク度	A
健康面	B	相掛かり	

終 盤でのスピード感、正確無比なフィニッシュから、「スーパーあつし君」と呼ばれる。数年前に体調を崩して休場したが、復帰後に年度勝率1位をマーク。近い将来、大舞台での活躍が見られるだろう。

親近感が湧くだろう？
オタクな棋士を探せ!



- 詰将棋解答選手権に6回出場して5回優勝。永世解答選手権者の称号が検討されたほどの圧倒的な実力 ● 「太鼓の達人」の達人で、行きつけの店ではマスターと呼ばれる ● 太鼓の実力を見せようと某女流棋士をゲーセンに誘ったが、あっさり断られた ● 「終盤はコンピュータに聞け。それでダメなら宮田に聞け」

なにしろ将棋にハマるくらいだから、棋士は総じて凝り性だ。昔で言えば、麻雀牌の竹の目で記憶してしまった丸田祐三九段。最近では羽生名人や森内九段のチェスは日本トップレベルだし、所司和晴七段は中国将棋のノンチャイニーズ世界王者に輝いたこともある。さて、オタクと言われても何も浮かばないの困った。例えば渡辺竜王が独身時代にハロプロのコンサート、秋葉原のメイド喫茶に通っていたこと。宮田五段がカラオケの1曲目に「ハレ晴レユカイ」を歌い、納得がいかなかったのか2曲目にPerfumeの「ポリリズム」でのどを整えてから「ハレ晴レユカイ」に戻ったこと。窪田義行六段が「天下第一将棋会」(129ページ参照)に熱中し、居心地よく対局に集中できる環境を求めてゲームセンターを渡り歩いていること。こんなのは普通なので特に記す必要はないだろう。困った困った。



盤上没我！
群馬に籠もる孤高の棋士

三浦 弘行

[八段 36歳]

①群馬県群馬郡 ②1992年 ③棋聖1期 ④NHK杯1回他計2回 ⑤竜王戦1組/順位戦A級

研究量 **S** 女性耐性 **C**
差し入れ **A** 横歩取り

棋 界トップ10であるA級に9年連続で在籍している実力者。研究の鬼であり、将棋の勉強に1日12時間を費やす求道者ぶりから「棋界の武蔵」と例えられることも。また将棋一途の素朴な人柄、マイペースだが憎めない振る舞いから、加藤一二三九段の後継者に推すファンも多い。5月現在、名人戦で羽生名人に挑戦中！

●全7タイトル制覇時の羽生名人を倒し、一躍時の人に。進め！電波少年にも出演した ●1日に24時間、将棋のことを考えていた時がある ●研究を明かしたくないのが感想戦で口ごもり、対戦相手をキレさせる ●対戦相手が自分の研究どおりに指してくると、つい「ヨシッ」と口に出してしまう ●野月浩貴七段の結婚披露宴に出席。誰とも話さずに詰将棋を解く ●冷房をめぐって加藤一二三九段と無言の争い。両者とも一手ごとに温度を上げ下げ ●美人囲碁棋士とランチをするも、緊張して昼からビールを大量摂取。「純朴な方」との好(?)印象を獲得 ●木村一基八段曰く「弘行は人を傷つけるようなことは絶対に言わない。純粹なんです」 ●現在婚活中



阪神とアメカジを愛する
関西のドン

谷川 浩司

[九段 48歳]

①兵庫県神戸市 ②1976年 ③竜王4期他計27期 ④全日本プロ7回他計22回 ⑤竜王戦1組/順位戦A級 ⑥十七世永世名人資格者

若々しさ **C** 解き放つ **S**
人格者 **S** 中飛車

中 学2年でプロ入り後、史上最年少の21歳で名人位を獲得。以来「光速の寄せ」と呼ばれる圧倒的な終盤力で、関西の将棋界を代表する第一人者として活躍している。ベテランとなった現在も、その高潔な人柄で人気が高い。



未来の名人候補・筆頭！

豊島 将之

[五段 20歳]

①愛知県一宮市 ②2007年 ③なし ④竜王戦4組/順位戦C級1組 ⑤2009年度最多勝利&最高勝率

勝数&勝率 **S** マガネ萌え **S**
貫禄 **C** 矢倉

関 西若手四天王の一人に数えられる、史上初となる平成生まれのプロ棋士。現在あらゆる棋戦で勝ちまくる快進撃を見せており、プロ間でも「将来は名人」の呼び声が高い。里見香奈女流二冠とともに、将棋界の未来を担う逸材である。

●12歳で単身上京、15歳で独居。苦労の下積みを経た努力の人 ●地元からの応援が原動力。タイトル奪取時は佐世保で号外が出た ●「(相手のことばかり考えるという意味で)番勝負は恋愛に似ている」(対局日が迫るにつれて)羽生さんのことばかり考えています」(羽生名人が長考前にメガネを外すと)羽生さんの素顔を見られるので、ドキッとしてしまいます」といった発言から、2ちゃんでは恋愛流と称されている

殴り合いなら
羽生さんに勝つよ？

深浦 康市

[王位 38歳]

①長崎県佐世保市 ②1991年 ③王位3期 ④朝日オープン将棋選手権1回他計8回 ⑤竜王戦1組/順位戦B級1組

郷土愛 **S** A級相性 **C**
パーフェクト **S** 角換わり

35 歳を過ぎてからタイトルを獲得した遅咲きの棋士で、負けん気の強さと不屈の精神が持ち味。たとえ羽生名人が相手でも臆してはいけないという気持ちから出た「羽生さんと殴り合いの喧嘩をしたら勝つ」の言葉は、熱い闘志の表れだ。



将棋も矢内さんも
諦めないで！

山崎 隆之

[七段 29歳]

①広島県広島市 ②1998年 ③なし ④NHK杯1回他計5回 ⑤竜王戦2組/順位戦B級1組

独創性 **S** 諦めない心 **C**
ジャニース **S** 相掛かり

研 究よりも独特の感性から繰り出される指し手で勝負する天才型。高い実力と甘いマスクも相まって将来を囑望されているが、ボヤキが多い。控室で「もう投げます」と言い残してからすぐに投了した「予告投了」は語り種だ。

いつもニコニコ、
早大卒の知性派棋士

丸山 忠久

[九段 39歳]

①千葉県木更津市 ②1990年 ③名人2期 ④棋王1期 ⑤NHK杯1回他計12回 ⑥竜王戦1組/順位戦A級

得意戦法 **S** オープン度 **C**
食事量 **S** 角換わり

丸 山九段のキーワードは「謎」。棋士仲間との付き合いはほぼ研究会のみで私生活はベールに包まれており、2005年にはアイドルと突然結婚して周囲を驚かせた。将棋では相手の攻め筋を全部封じてしまう「激辛流」が持ち味。

食事とおやつにも定跡があった！

棋士と食事の美味しい関係

ネット中継を楽しむために必要なものはなんだろうか。棋力？ 知識？ いやいや、そんなものは後から勝手についてくる。一番大事なのは、好きな棋士を作って自分の中でいじり倒し、何でもかんでも面白がる姿勢だ。

例として棋士紹介に登場した丸山九段にロックオン。寡黙で謎多き男が雄弁になる、食事注文の場面に

スポットを当ててみよう。

対局は朝の10時に始まり、持ち時間によっては日付をまたぐこともザラ。棋士にとって昼食休憩、夕食休憩に食べるものは非常に重要な一手と言える。

さて、ある日の丸山九段。係が注文を聞きに来ると、こう答えた。「みろく庵の麻婆豆腐定食とシューマイ。それに2リットルの天然水をください。ただでさえボリュームたっぷりの定食にシューマイのオプション付き。これをペロリとたいらげる。

しばらくして夕食時。「ふじもとのヒレカツ定食となめこ汁、2リットルの天然水とそば茶を4本、それにカロリーメイトをください。ここまでなら少し胃袋に覚えのある人ならこなせなくはないだろう。しか

し驚くべきことに丸山は、昼食と夕食の間に近所の洋食屋でチキンステーキを食べていたのだ。「対局を終えると体重が何キロも落ちている」と話す棋士も多いが、いくらなんでも指しすぎではなからうか。

棋士に興味を持った次は周辺情報を。文中に出てきた「みろく庵」は和食、中華、そばうどんまで取り扱うドン・キホーテのような店。「ふじもと」はうなぎ、どんかつを出す老舗。ほかにも、貧乏な棋士修行の少年にカレーをご馳走したという人情そば屋「ほそ島や」など個性的な店が多い。いずれも将棋会館の近くにあり、誰でも同じものを食べられる。あなたも丸山九段と同じ麻婆豆腐定食、加藤九段と同じうなぎを食べてみてはいかが？



みろく庵(正確には系列店の「龍樹」)の「麻婆豆腐定食とシューマイ」がコレ。ボリュームもあって非常に美味し。

協力：みろく庵 ●東京都渋谷区千駄ヶ谷4-19-14 ●03-3403-6031